

祝！開催決定！！



2016年「希望郷いわて国体」開会式

熱い鼓動 風は南から
2020

燃ゆる感動

かごしま国体・かごしま大会

第75回国民体育大会

第20回全国障害者スポーツ大会



平成32年(2020年)の第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」の鹿児島県開催が、(公財)日本体育協会理事会で正式に決定されました。鹿児島県での開催は、昭和47年(1972年)に行われた第27回国民体育大会「太陽国体」以来、48年ぶりとなります。また、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催も決定しました。両大会が素晴らしいスポーツの祭典になるよう、「オール鹿児島」で盛り上げていきましょう！



2020年

10月3日 土
10月13日 火
 国民体育大会

2020年

10月24日 土
10月26日 月
 全国障害者スポーツ大会

国民体育大会(国体)とは

国体の始まりは昭和21年、第二次世界大戦後の混乱の中で、スポーツを通して国民に勇気と希望を持って欲しいという願いのもと、戦争の被害が少なかった京都を中心に第1回大会が開かれました。その後国体は、国内最大のスポーツの祭典として、各都道府県で順番に開かれるようになり、スポーツの普及やスポーツ施設の整備など、日本のスポーツ界を盛り上げてきました。

現在では、多くの人々が楽しくスポーツにふれることで健康で元気になることや、毎日の生活を明るく豊かにすることを目的として開催されています。

かごしま国体が開かれる平成32年は、東京オリンピック開催の年でもあります。オリンピックの感動と興奮を引き継ぐオリンピックキヤーにふさわしい国体を、県民総参加で目指していきます。

全国障害者スポーツ大会とは

全国障害者スポーツ大会は、身体障害のある人々を対象に行われてきた「全国身体障害者スポーツ大会」と、知的障害のある人々を対象に行われてきた「全国的障害者スポーツ大会」を一つにし、平成13年から始まった障害者スポーツの全国的な祭典です。

平成20年の第8回大会からは、精神障害のある人々を対象にした種目も加えられました。

障害のある選手が競技などを通じてスポーツの楽しさを体験したり、たくさんの方が障害を理解し、障害のある人の社会参加を広めたりしていくことを目的としています。

オリンピックの後に開催されるパラリンピックのように、国体に引き続き開催されますので、国体と一体となって盛り上げていきましょう。



昨年の岩手国体に参加した「チームかごしま」の選手たち
国体の正式競技は都道府県対抗で行われます。天皇杯(男女総合成績1位)と皇后杯(女子総合成績第1位)を目指して繰り上げられる、選手たちの熱い戦いは必見です。



上：県障害者スポーツ大会で、陸上競技に挑む選手たち。
下：車椅子バスケットボールの練習風景。

太陽国体って？

昭和47年に鹿児島で開催された第27回国民体育大会は、「太陽国体」の愛称で親しまれました。この国体で鹿児島県選手団はなんと天皇杯(男女総合優勝)・皇后杯(女子総合優勝)を獲得する快挙を達成し、県内全体が活気で満ち溢れました。



